



School Library

葦山中学校図書館通信 NO.3 2021. 9. 10発行 文責 岩崎桂子

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下で2学期が始まりました。

葦山中学校図書館も「密」を避けるため、昼休みの貸し出しは曜日ごと縦割りの色別になっています。また、入館時の手指の消毒のお願い、館内での閲覧禁止、ソーシャルディスタンスの確保と返却された資料の除菌を行っています。新型コロナウイルスの流行がおさまらないことには、今までのような図書館活動はできないようです。が、しかし外出が制限され、部活動が停止されている今だからこそ、時間に余裕があり、本が読めると思いませんか？本を読むと実際には行くことができない時代・場所に行くことができます。実際には会うことができない人たちに会うことができます。会話することもできます。今だからこそ、一番身近な学校図書館を利用して本を読みましょう。

蔵書点検が終わりました。



夏休み後半の8月19日から蔵書点検を行いました。今回はコロナ禍のため司書ひとりで点検を行ったので、時間もかかりましたが無事終了しました。結果は次の通りです。

不明回数	書名	著者名	請求番号	資料番号	備考
1	ガールズ・ブルーⅡ	あさの あつこ	B 913 ア	10138923	今回の蔵書点検で不明
1	ザ・ギバー	ロイス・ローリー	933 ラ	10108199	学級文庫未返却により不明
1	こころ	夏目 漱石	B 913 ナ	10164333	学級文庫未返却により不明
1	修学旅行の本 奈良	修学旅行研究会	291 シ	10172922	学級文庫未返却により不明
1	ABC!	市川 朔久子	913 イ	10183093	学級文庫未返却により不明
2	昨夜のカレー、明日のパン	木皿 泉	B 913 キ	10195840	昨年度蔵書点検で不明
2	吹き出したくなる話	北 杜夫	908 ワ 2	10104107	一昨年末学級文庫未返却により不明
2	スカッとする話	那須 正幹	908 ワ 1	10104115	一昨年末学級文庫未返却により不明
2	まぼろしの星	星 新一	913 ホ	10160364	一昨年末学級文庫未返却により不明
2	走れメロス	太宰 治	913 タ	10163970	一昨年末学級文庫未返却により不明
2	注文の多い料理店	宮沢 賢治	913 ミ	10164135	一昨年末学級文庫未返却により不明
2	こころ	夏目 漱石	B 913 ナ	10164200	一昨年末学級文庫未返却により不明
3	たけしくん、ハイ!	ビートたけし	B 913 ヒ	10113967	一昨年の蔵書点検で不明
3	ウィニング・パス	広瀬 恵利子	913 ヒ	10121226	一昨年の蔵書点検で不明
3	京都府の歴史	赤松 俊秀	216 キ	10130425	一昨年の蔵書点検で不明
3	あこがれ	川上 未映子	B 913 カ	10204113	一昨年の蔵書点検で不明

教室・部室・家庭にありますか？探してください。お願いします。

新着図書のご案内

	書名	著者名	請求番号
1	アーニャは、きつと来る	マイケル・モーパーゴ	933 モ
2	医学のひよこ	海堂 尊	913 カ
3	ウィズ・ユー	濱野 京子	913 ハ
4	エリーゼさんをさがして	梨屋 アリエ	913 ナ
5	気候変動から世界をまもる 30 の方法	国際環境 NGO FoE Japan	451 キ
6	地震はなぜ起きる?	鎌田 浩毅	453 カ
7	地球温暖化を解決したい	小西 雅子	451 コ
8	地底アパートの最後の訪問者	蒼月 海里	B 913 ア 6
9	七怪忌	最東 対地	B 913 サ
10	100 日後、きみのいない春が来る。	miNato	913 ミ
11	Bling Bling	相羽 鈴	B 913 ア
12	牧野富太郎	清水 洋美	289 マ
13	満月珈琲店の星詠み [2]	望月 麻衣	B 913 モ 2
14	水を縫う	寺地 はるな	913 テ
15	Re:ゼロから始める異世界生活 27	長月 達平	B 913 ナ 27
16	竜とそばかすの姫	細田 守	B 913 ホ
17	レンタルフレンド	青木 祐子	913 ア

1・3・12は
読書感想文
課題図書で
す。

蔵書点検を行っているとき、準備室で「蕪山中 PTA がボランティア活動・読み聞かせスタート」と書かれた古い新聞の切り抜きを見つけました。今から 20 年ほど前の新聞です。ということは現在行われているボランティアさんによる「読み語り」は 20 年余りの歴史があることとなります。「本の面白さを紹介したり、興味を持たせるきっかけづくりにしたい」とスタートさせました。そして、いろいろな方々の協力のもと、現在まで継続されています。ではなぜ、蕪山中では「読み聞かせ」ではなく「読み語り」なのでしょう。『本を読んで聞いてもらうのは同じです。でも「読み聞かせ」では強制的に「聞かせる」ことになる。読み手や語り手が読んで語ることを生徒に「聞いていただく」そんな関係を作りたい。』「読み語り」開始当時の司書のこだわりでした。

昨年度・今年度コロナのために「読み語り」が中止になることもありました。対面を避けるためにリモートで「読み語り」を行ったこともありました。今後、時の流れとともに、「読み語り」の方法も変わっていくかもしれません。しかし「生徒に聞いていただく」「本に興味を持っていただく」という開始当時の司書さんの思いは、様々なかたちで受け継がれていくと思います。



昨年度から、マスクやマウスシールドを利用した「読み語り」をお願いしています。ボランティアさんには大変なのですが。